

2014年11月20日

愛知製鋼株式会社

カブトムシのすむ森づくり ～昨年植樹した苗木を親子で観察～

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、社長：藤岡高広）は、CSR活動の一環とした生物多様性保護のため 2012 年から知多半島生態系ネットワーク協議会事業の「命をつなぐPROJECT」に参加し、社有地の中新田地区に「カブトムシのすむ森づくり」を進めてきた。

「カブトムシのすむ森づくり」は生きものが、自然のサイクルの中で暮らし続ける環境を創出することを目指し、社員のドングリ拾い、苗木育成から始まり、昨年 1 月には、社員、家族、地域社会の方々と共に植樹祭を開催し 約 1200 本の苗木を植樹してきました。

苗木はこの 1 年間でしっかりと根付き、将来的にはカブトムシの群れる大きな森へと成長し、子供たちがワクワクドキドキしながら、昆虫採集にきてくれることを願い、苗木育成観察イベントを下記のとおり開催する。

子供の成長と共に木の成長を見守っていただきたいとの思いを込め、当日は苗木育成観察と落ち葉の堆肥づくり体験を計画し、親子で自然について考える場を提供いたします。

本件についてのお問合せは、愛知製鋼株式会社 総務部 総務・広報室 原田、加藤(052-603-9216)まで、ご連絡をお願いいたします。

【カブトムシのすむ森づくり】

開催場所： 愛知製鋼株式会社 本社知多工場 隣接緑地（東海市東海町）

開催日時： 2014年11月22日（土） 9:00～12:30

市内加木屋緑地にて除草作業をした後に、
本社へ戻り緑地整備「カブトムシのすむ森づくり」を行います。



昨年の植樹風景



以上